

## 医学研究実施のお知らせ

JCHO 埼玉メディカルセンター 外科 (プレストセンター) では以下の研究を実施しております。

研究対象となる方 (または代理の方) でこの研究について詳しくお知りになりたい場合やこの研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、下記の【問い合わせ先】まで御連絡ください。

【研究課題名】 皮下乳腺全摘術を施行した微細石灰化病変を有する乳癌患者における乳頭乳輪内病変予測因子の検討

### 【研究の概要】

(研究の目的)

本邦では一部の tissue expander と breast implant が保険適応となって以来、乳房再建術の需要が急速に高まりつつある。乳頭乳輪を温存した乳房再建術を希望する患者も少なくないが、術式を選択する際には乳頭乳輪内病変 (nipple-areola complex involvement; NAC) の正確なリスク評価が重要である。しかしながら術前に NAC を正確に判断する方法は確立していないのが現状である。我々は過去の研究で MRI を用いた NAC の術前予測モデル (MRI based nipple-areola complex predictive index; mNACPI) を報告した (Seki et al., European Journal of Surgical Oncology, 2021)。mNACPI を用いることで従来のマンモグラフィやエコーを用いた NAC の術前予測精度が有意に改善される可能性が示唆された。しかしながら、マンモグラフィで微細石灰化病変を有する症例に対する NAC の術前予測精度は明らかとなっていない。

微細石灰化病変を有する乳癌患者の皮下乳腺全摘術における NAC の臨床病理学的因子を探索し、mNACPI を含めた精度の高い予測モデルの構築を目的に後ろ向き観察研究を行う。本研究は微細石灰化病変に対する NAC 温存の精度の高い予測方法を確立し、乳房再建を希望する患者により安全な NAC 温存を提供できる可能性があるため、臨床的意義のあるものと考ええる。

(研究期間)

2022年3月1日から2025年12月31日までを予定している。

(研究対象者)

2008年4月から2021年12月までに当院で皮下乳腺全摘術を施行した患者のうちマンモグラフィで微細石灰化病変を有する症例

(研究に利用する情報等)

年齢、術式、病理診断、バイオマーカー、画像所見等

【問い合わせ先 (対応時間: 平日 9:00 ~ 17:00)】

JCHO 埼玉メディカルセンター 外科

関 大仁

電話: 048-832-4951

※ご利用させて頂く情報等からは氏名、住所、電話番号など個人を特定できる情報は全て削除しております。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用致しません。